

# 「ぎふ農業・農村基本計画」の中間見直し案 概要

◆基本理念、4つの基本方針、重要テーマ、計画期間といった骨格は変更せず、新たな課題に対する取組みの追加を中心に変更

主な取組み見直し内容  
(右記参照)

## 追加する取組み(抜粋)

### ①「みどりの食料システム戦略」を踏まえた対応

- 有機農業の取組推進及び環境負荷低減事業活動（温室効果ガス排出削減含む）の促進等
  - 県試験研究機関における有機農業技術の開発
  - 有機農業推進プロジェクトチームの設置
  - 学校給食での利用拡大など地域内流通の促進
  - 堆肥利用促進に向けた連携体制構築・機械導入支援
  - 燃油使用料等の低減に資する省エネ設備の導入支援
  - 農業の持続可能性に配慮した流通・消費行動の普及啓発
- フードバンク活動の支援
  - 農業団体とフードバンクとのマッチング強化
  - 青果物等の一時保管に必要な冷凍・冷蔵庫設置支援

### ②国の食料安全保障対策の強化への対応

- 生産資材等の価格高騰対策の推進
  - 影響を受ける農畜水産業者への影響緩和策の実施
  - 自給飼料増産に必要な施設整備・機械導入支援
- 食料自給の向上に向けた取組推進等
  - 米粉用米・加工用米への生産・利用拡大
  - 麦・大豆の生産拡大・収量安定支援
  - 収益力向上に向けた暗渠排水・基幹排水路整備
  - 直売所、SNS等における消費者に対する情報発信強化

### ③アフターコロナを踏まえた対応（DX推進・ライフスタイル変化への対応）

- 農業の収益性向上等に向けた農業DXプラットフォームの構築推進
- 「ぎふ清流GAP」の普及に向けたVR技術による遠隔リアルタイム農場評価の実施
- 大都市圏のシェフやバイヤー等の産地招へい活動の強化や高級百貨店での販売キャンペーンの実施
- 農地利用状況調査等の事務負担軽減に向けたタブレット端末の導入支援
- 農泊やワーケーションの取組み充実に向けた滞在型プランの開発等の支援

### ④新たな課題・意見聴取を踏まえた対応

- 農福連携の推進
  - ジョブコーチの育成や特別支援学校生徒への就労促進
  - 「ノウフク商品」のブランディングや販路拡大
- 子ども達に対する食や農村への理解醸成
  - 地域団体等が実施する多様な食農教育活動の支援
  - 小学生を対象とした農村体験教育の実施の支援
- <未来の漁場を守る取組み>
  - 鮎資源の増大に向けた釣れる放流鮎の生産技術の開発、科学的根拠に基づく管理体制の構築
  - 効果的なカワウ対策に向けたドローンによる繁殖抑制等ICTを活用した技術の検証

## 目標指標の追加・修正

### <追加する目標指標（計8指標）>

- ・農業者と福祉事業所のマッチング数、農福連携に取り組む主体数、電子商取引等導入経営体数、米粉用米・加工用米作付面積、WCS用稲作付面積、有機農業の取組面積、有機農業指導員育成数、長良川の鮎資源量

### <修正する目標指標>

- ・地産地消率（算出対象品目を全ての農産物品目から県内主要品目に見直し）  
[48% (R3年度) →52% (R7年度)]（変更前：20% (R1年度) →25% (R7年度)）
- ・学校給食地場産物使用割合（国の公表数値変更を踏まえ、品目数ベースから金額ベースに変更）  
[62% (R3年度) →66% (R7年度)]（変更前：33.8% (R1年度) →35% (R7年度)）

重要テーマ  
中山間地域を守り育てる対策

## 重点施策

(1) ぎふの農業・農村を支える人材育成	1 担い手の経営発展への支援強化	③④
	2 産地の実状に応じた多様な担い手の育成・確保	③④
	3 本格的な人口減少下でのスマート農業の全県展開	③④
	4 農村を支える集落営農組織・活動組織の持続的な体制構築	④
(2) 安心して身近なぎふの食づくり	1 地産地消県民運動の展開	①③④
	2 安心と信頼を届ける農畜水産物の生産展開	③
	3 水田農業における安定供給体制の構築と新たな展開	③
	4 家畜伝染病(豚熱・アフリカ豚熱など)に対応できる畜産産地づくり	③
	5 県民の食を支える生産基盤の整備	③
	6 食料安全保障の強化に資する生産・供給体制の構築 ※「リスクに対応できる」⇒「食料安全保障の強化に資する」に修正	②④
	7 岐阜県版「みどりの食料システム」の取組推進【追加】	①④
(3) ぎふ農畜水産物のブランド展開	1 輸出拡大の強化	③④
	2 大都市圏の需要喚起に向けた販売促進の強化	③④
	3 飛騨牛をはじめとする売れる畜産物を支える体制強化	③
	4 主要園芸産地の生産体制強化	③
	5 新たな需要開拓による花き振興	③④
	6 鮎を守り育てる体制の構築	③④
	7 ブランド展開を支える新品目の創出と生産流通技術の開発	①
(4) 地域資源を活かした農村づくり	1 災害に強い農村づくり	④
	2 農地の保全と生活環境の向上対策・鳥獣害対策	③
	3 世界農業遺産「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承と持続的発展	④
	4 棚田など地域の魅力を活かした農村の活性化	③④